

町政を問う！

一般質問

3月定例会では9人の議員が理事者に
対し、21項目の一般質問を行いました。
なお、質問と答弁は要約してあります。

職員のスキルアップ及びモチベーション向上



北村光明議員

人口減少時代における
地方創生は職員に期待する
ところが大きい。
①自治体の使命を実践する
にあたり、職員のモチ
ベーション維持のために
は何か必要だと考えてい
るか。
②職員のスキルやキャリ
アアップのためのプログ
ラムはあるか。自己研修
への助成制度はあるか。
③職員研修の機会はこの

よつなものがあるか。実
施主体はどこか。
④実施すべき課題は。
高薄町長

①初心を忘れず、自己学
習、自己研さん、自己改
革を進め、人間力・地域
力を向上させることが必
要であり、そのための研
修等も必要。
②スキルアップ等は管内
19市町村の共通課題であ
り、広域で人材育成事業
を進めている。自己研修
への助成制度はない。
③管内の広域連携のほか、
市町村職員研修センター、
中央研修所、自治大学校、
町村会などの主催で各種
研修が行われている。
④職員採用を控えていた
時期の影響から、長期間

地域包括 ケアシステム

北村光明 議員

の研修への参加は仕事に
穴があくので非常に困難
であると聞いており、こ
れを解決していきたい。

地域包括ケアシステム
構築の現状及び進捗状
況を伺う。
①清水町の65歳以上・75
歳以上の人口の推移と、
医療・介護給付費の推移
見通しを伺う。
②地域ケア会議等の開始
予定、中長期見通しを伺
う。
高薄町長
①2月末現在、65歳以上

の人口は3008人、75
歳以上は1811人で、
65歳以上は毎年約50人、
75歳以上は毎年約30人ず
つ増加している。医療費
は毎年約4千万円、介護
保険は約5千万円ずつ増
加しており、今後も同様
に推移する見通しである。

②現在、地域ケア会議の
開催準備を進めており、
これにより町内全ての医
療機関（歯科を含む）及
び介護保険施設、担当者
等が網羅され、本町の医
療・介護・福祉の連携な
どについて定期的に協議
を重ねていく。個別の事
例による調整会議を従来
から設けており、その部
分を含めて体制の充実・
強化を図っていく。

資源を活かした 観光産業の創出

北村光明 議員

地域の資源を活かした
観光産業の創出について
伺う。

①本町の地域資源として
考えられるものは何か。
②今後、重要視される資
源は何か。
③観光産業の創出と重点
的なものはあるか。
④牛玉ステーキ丼や牛と
ろ丼を中心とした、毎年
開催の継続的なイベント
を実施する考えはないか。
高薄町長
①日高の山並みは大変素
晴らしいものであり、大

切な資源であることは間
違いないが、雄大なので、
どこにポイントを置かか
が難しく、産業を活かし
た食に頼っている。心あ
るおもてなしも資源の一
つであり、人材を養成す
ることも必要。
②素晴らしい景観から「十
勝清水四景十」を考え
たので、これを活用する
ことも重要。
③情報発信の拠点を整備
し、十勝千年の森の集客
力をさらに発展させるよ
う支援していき、観光協
会が主体となって、観光
が産業として成り立つよ
う考えていく。
高金商工観光課長
④毎年10月上旬に開催さ
れている清水「食」の元